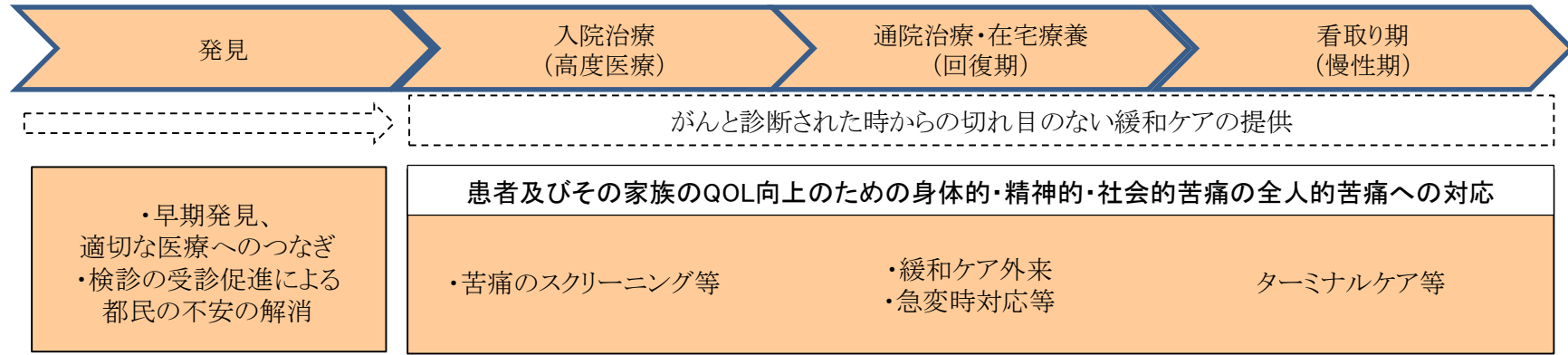


I 緩和ケアの種類



II 課題等

計画における主な課題

①拠点病院等での専門的緩和ケアの提供体制	主治医等から緩和ケアチームにつながる体制が十分に機能していない(院内の連携体制)
②緩和ケア病棟	緊急時の受入対応、終末期対応について緩和ケア病棟と一般病棟の役割の明確化
③地域連携 ④在宅緩和ケア	拠点病院等と地域の病院等との連携を促進 医療機関における在宅緩和ケアを推進
⑤人材育成	これまでは拠点病院の医師を中心に基本的緩和ケアの研修を実施。対象となる病院・職種が限られ、また内容も基礎的な研修に限定

目指す姿

拠点病院内で「基本的緩和ケア」から「専門的緩和ケア」へつなぐ体制がある
拠点病院・地域の医療機関が連携し、円滑に地域に移行ができる
拠点及び地域において、多職種の医療従事者が育成されており、緩和ケアを適切に提供できる

方向性の例示 (都事業)

- がん診療連携拠点病院事業
- 東京都がん診療連携拠点病院事業
- 地域がん診療病院事業
- ⇒拠点病院等での課題を把握し、取組を推進

- (新規)地域緩和ケア移行体制構築モデル事業(仮称)
- ⇒本事業及び緩和ケアワーキンググループでの検討を踏まえ、緩和ケア病棟の役割の明確化、病床の機能分化を推進

- 緩和ケア研修会(多職種)
- 医師緩和ケア研修事業(「がん診療連携拠点病院事業」の加算メニュー)
- ⇒上記取組を着実に推進